



令和6年12月17日

札幌開発建設部

## 石狩川水系豊平川河川整備計画を変更しました

北海道開発局では、「石狩川水系豊平川河川整備計画」の変更に向けて、河川法第16条の2の規定に基づき手続きを進めてまいりました。

今般、石狩川流域委員会、関係住民及び北海道知事等のご意見を踏まえ、令和6年12月17日付けで「石狩川水系豊平川河川整備計画」を変更しましたので、お知らせします。

整備計画変更のポイントは、以下のとおり。

- ① 気候変動の影響を見据えた洪水調節機能の増強に係る調査・検討を実施
- ② 流域治水への転換を踏まえた治水対策（流域治水の取組推進）
- ③ 生態系ネットワークの形成、地域と連携した河川空間の利用促進

詳細については、以下の札幌開発建設部のホームページにて公開しております。

[https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen\\_keikaku/kluhh4000000hzt9.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen_keikaku/kluhh4000000hzt9.html)

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

河川計画課 課長

森田 共胤（電話番号 011-611-0329 ダイヤルイン）

流域治水対策専門官

宮下 綾太（電話番号 011-611-0329 ダイヤルイン）



札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>

# 石狩川水系豊平川河川整備計画〔変更〕概要【大臣管理区間】

・平成18年9月に策定した石狩川水系豊平川河川整備計画について、以下の点から見直しを行い、令和6年12月に変更しました。

## ①気候変動の影響を見据えた洪水調節機能の増強に係る調査・検討を実施

### ～札幌市中心市街部の課題～

- ・全国の一級水系と比較して人口・資産が集中しているとともに、地下空間が高度に利用されている。
- ・豊平川は全国屈指の急流河川であり、破堤氾濫発生時は流れの速い氾濫流が短時間で市街部(地下空間含む)に到達し、避難行動を困難にするとともに都市機能の麻痺が懸念される。

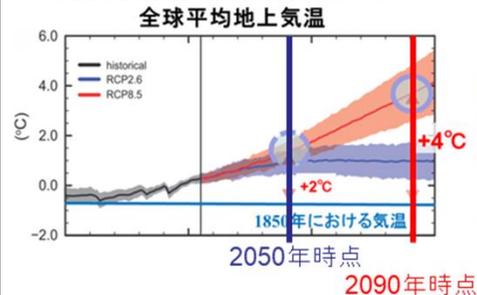
▶ 想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により豊平川が氾濫した場合の浸水シミュレーション



### ～気候変動後の状況を見据え、計画規模を上回る洪水や整備途上段階に施設能力以上の洪水が発生した場合でも被害をできるだけ軽減することが必要～

- ・気候変動の影響により、2050年頃には各シナリオとも気温が2℃程度上昇することが予測されている。
- ・北海道では2℃上昇時に降雨量が1.15倍になることが試算されている。

<地域区分毎の降雨量変化倍率>



地域区分	2℃上昇	4℃上昇	
		短時間	
北海道北部、北海道南部	1.15	1.4	1.5
九州北西部	1.1	1.4	1.5
その他(沖縄含む)地域	1.1	1.2	1.3

出典:「気候変動を踏まえた治水計画のあり方」提言(令和3年4月改訂)より

### ～豊平川における洪水調節機能の増強～

- ・河道対策や流域治水での被害軽減対策等の検討を進めるとともに、気候変動による洪水被害の拡大等を見据え、既存ダム群の治水・利水容量を最大限活用した方策や操作方法の見直し、放流能力の増強等、洪水調節機能の増強について関係機関と協議・調整の上、各種調査・検討を実施する。



## ②流域治水への転換を踏まえた治水対策（流域治水の取組推進）

～あらゆる関係者により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換～

・流域のあらゆる関係者と連携して取り組む「流域治水プロジェクト2.0」を推進し、特定都市河川制度等の活用に向けた検討を行い、更なる治水対策を推進する。

### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、洪水調節機能の増強の調査・検討、豊平川侵食対策、冬季出水に備えた排水機場の無水化
- ・ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
- ・旧川や公園・緑地等の保全・活用
- ・インフラDXによる河川管理施設の品質確保と適切な機能維持
- ・既存ストックの徹底活用

### ■ 被害対象を減少させるための対策

- ・まちづくりや防災等の地域計画と一体となった河川防災ステーション等の整備

### ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・被害を軽減させる取り組みの推進
- ・早期復旧・復興のための対策
- ・BIM/CIM適用による三次元モデルの積極的な活用
- ・地下空間の浸水対策
- ・まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討

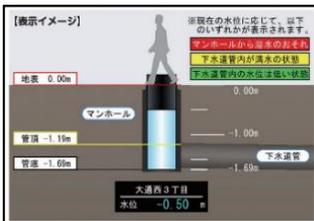


内水氾濫と洪水の浸水想定区域図を同時に確認できる札幌市浸水ハザードマップ（札幌市）



下水道科学館（札幌市）

流域治水に資する施設について管理者が連携した合同見学会（札幌市、札幌建設管理部、札幌開発建設部）



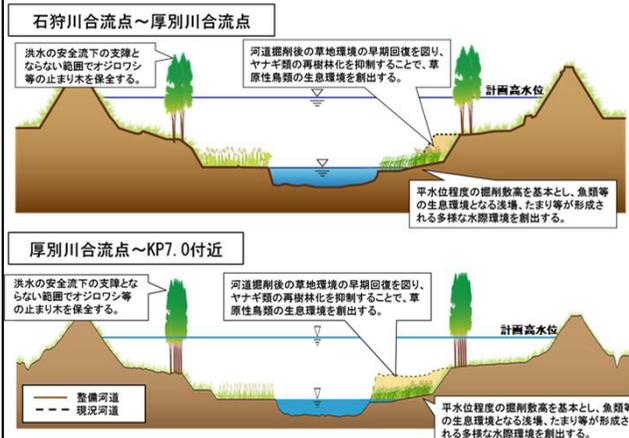
地下街近くの下水道水位をリアルタイムで閲覧できる「札幌市下水道水位情報システム」を構築し、地下街の事業者へ周知

水位情報の提供による都心地下施設の浸水被害の軽減（札幌市）

## ③生態系ネットワークの形成、地域と連携した河川空間の利用促進

～河川環境の整備と保全～

- ・魚類等の移動の連続性確保や河畔林の連続性等、生態系ネットワークの形成に向けた検討を進めていく。
- ・河道掘削にあたっては、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出を図るとともに、魚類の遡上・産卵環境や水際植生、瀬・淵・草地環境の保全・創出を図る。
- ・また、河川環境の数値目標の位置付けに向けた検討を実施する。



河畔林の保全、多様な水辺環境の創出イメージ図

～河川空間の利用～

- ・河川空間の利用の現状を踏まえ、河川環境の整備と保全が適切に行われるよう、地域住民や自治体との共通認識のもと秩序ある利用を図る。
- ・河川空間は、人々が川や水辺とふれあい親しめる場として利用されるよう地域住民や関係機関と連携し、河川敷地の更なる規制緩和にも柔軟に対応する。



サケの稚魚放流



豊平川緑地パークゴルフ場



ウォーターガーデン



マラソン大会

■ 関係機関と連携して、人と川とのふれあいの場の提供を図る。

■ 人と川とのふれあいに関する整備を行う場合は、自治体等と連携して計画等を策定し、取組を行う。

■ 地域の取組のネットワーク化を図り、地域の賑わいづくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進する。